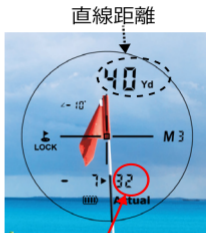


Mini+m 簡単スタートガイド

- ①.ベルト又はスカートに「専用クリップ」を垂直に装着
- ②.目標を狙って「電源ボタンを押し続け」て計測
- ③.本体の磁石部分を専用クリップに直接装着!

モード(切替)
ボタン
&
距離単位切替

電源ボタン
&
測定ボタン



高低差を計算した距離
※M3モードでのみ表示



(落下防止機器を装着)



おかしいな?と思った時の「あるあるチェック項目」

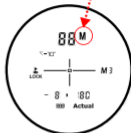
表示距離が10～20ヤード短い

ディスプレイの
Yd(ヤード)表示
になっているかを
確認して下さい。

ヤード表示



メートル表示



ピンの距離がうまく出ない

ピンの旗を狙って
電源ボタン「長押し」
で「振動」して距離の
補正が出るまで待つ



モードが
M2かM3いずれか
になっているか確認



小指がレーザー
射出部分に出て
妨害している



競技モード

TecTecTec

傾斜モード

TecTecTec



持ち運びはポーチからマグネットへ



ミニプラスエム
Mini+m



TecTecTec! JAPAN

カスタマーサポートフリーダイヤル

[0120]957-188 平日10-12、13-16時

同梱物について(本体・本書除く)

1x 専用クリップ

1x マイクロファイバークロス

1x CR2-3V電池

1x 専用ポーチ

1x ストラップ

1x 落下防止機器

= 特 徴 =

- 「JGA・USGA・R&A」ルール適合品
※トーナメントルール 「規則14-3」公式競技でもローカルルールで認める場合「傾斜OFF」で使用可
- 可視-傾斜(高低差)切替スイッチ
- 測定精度 ± 1 ヤード(メートル)
- 内蔵磁石と専用クリップで簡易収納可
- 小型・軽量仕様
- 人間工学採用のデザイン
- 自動電源オフ機能
- 不可視レーザー
- 調整可能な接眼レンズ(焦点調整リング)

スペック(仕様)

対物レンズ	20mm
レンズ倍率	6倍
レンズ視野角	7°
射出瞳径	3.5mm
視度調整	±5
使用温度	-20 to 50°C **
測定精度	±1 ヤード (メートル)
使用電池タイプ	CR2-3V
電池残量表示	
振動(ハイブレーション)機能	有り
ピンLOCK機能	有り
重量(電池無し)	148 g
本体サイズ	92.7×40.9×77.7mm

**結露にはご注意下さい

さあ、使ってみましょう

MODE(モード)ボタン

ノーマル・スキャン、ピンモード

モードボタンでは測定方法を変更することができます。またモードボタンを「3秒以上長押し」すると測定方法が「ヤード=Yd、メートル=m」に切替かわり、内部LCDの表示単位が変更されます。



対物レンズは使用中は絶対に覗かないで下さい。

自分の距離が分かれば 自分のゴルフが分かる!

電源ボタン (⏻)

このボタンを押すと
スイッチが入り、
30秒以上使用しないと
自動的に電源が切れ
ます。

接眼レンズ &
焦点調整リング(外周)
焦点調整リングを回して
「焦点調整」してから、
電源ボタンを押して
距離を測定

ストラップ取付口
付属のストラップなど
を取り付ける際に
ご使用ください。

バッテリーカバー
回して取り外して同梱の**リチウム電池**
(CR2 3V-再充電不可タイプ)を入れます。



電池(CR2-3V)を入れましょう!



1. 電池を入れる場所は本体接眼レンズの下(上図→の場所)蓋のフラップを摘んで立て(11ページ参照)「反時計まわり」にまわして開けます。




2. 専用の**CR2-3V**リチウム電池を上図の様に電池のマイナス(-)端子が「内部奥のバネ」に当たる様に優しく入れて下さい。
3. 電池を入れたら+端子が見えている状態(=正しい方向)を確認してから蓋を戻し、「時計まわり」に回して蓋を閉めて下さい。

本体の電源を入れる、切る



電源を入れる

1. 左図の電源ボタンを  1回押すと本体の電源がON(オン)になります

電源を切る

2. 本機は電源の入った状態から「30秒以上」どのボタンも押さないと自動的に電源が切れます。

計測方法の選択

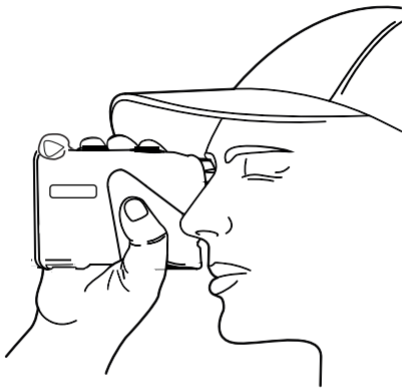


1. モードボタン(M)を「3秒以上押したまま」にすると、測定単位をヤード(Yd)※初期設定もしくはメートル(m)に切り替え出来ます
2. モードボタン(M)を「1回押す」ことで測定方法(モード)が切り変わります。

傾斜ONでの切替:
ノーマル・スキャン⇒
ピン⇒傾斜(高低差)

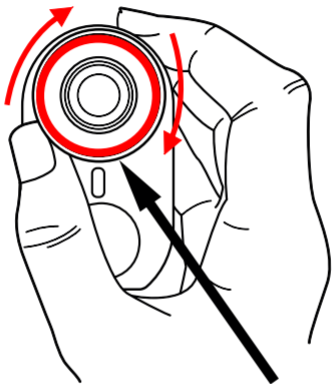
傾斜OFFでの切替:
ノーマル・スキャン⇒ピン

距離計の持ち方



1. 測定する際には接眼レンズ(電池収納の上にあるレンズ)の中を覗きます。
2. 測定は本体の2つのボタンが上(天)を向いた状態で使用して下さい。

覗いた画面の焦点調整



1. 接眼レンズの周囲に**焦点調整リング**がついており、これは「回転」します。
2. この部分を左右いずれかに回して液晶内部の「焦点」を合わせて下さい。

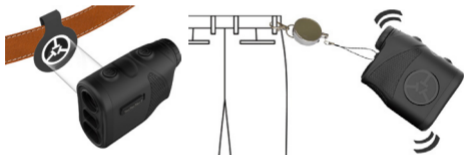
専用クリップ・落下防止機器



1. 専用クリップ 重さ:20g
サイズ: 66*50*7mm



2. 落下防止機器 重さ35g
サイズ:160*40*20mm
リール長は最大70cm



1. 専用クリップを「厚み2~5mm以内のズボン・スカート・ベルト」の上部に地面に対して「垂直」に取り付けて下さい。
2. 同梱の「落下防止機器」(リール式)を本体とベルト通し等に装着することで落下防止になり、安全にご使用になれます。

装着時の注意点

注意点:

「専用クリップ」と「本体磁石部分」の間に
「服などが挟みこまないよう」ご注意ください



1. レーザー距離計は「直接」専用クリップに取り付けて下さい。「間」に服などが挟まると、磁力が弱まり本体が落下する恐れがありますのでお止め下さい。

注意点:脱落による本体を含む製品の紛失/破損/不具合は保証対象外です。

LCD(液晶画面)について

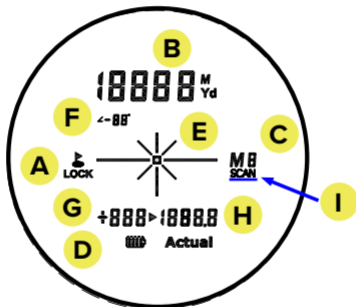
TecTecTec! Mini+mレーザー距離計は目に安全なレーザーを使用し最長800ヤードまでの距離を誤差±1ヤード(メートル)で測定することができます。測定には射出したレーザーが「反射して戻ってくるまでの時間」をもとに計算します。

レーザー距離計はゴルフでの使用に加えて狩猟、サバイバル道具、建築、アウトドアなどで使用されます。

天候に加えて、ターゲットの大きさ・形・色・素材の表面などに影響を受けることがあります。

レーザー距離計で正確な計測するコツは「安定するようにしっかり持つ事」です!

接眼レンズから中を覗いた状態で電源を押すと、最初に下図が液晶画面に数秒間表示されます。(↓図中の黄色表記は表示されません。) 焦点調整リングを左右に回して「焦点」を合わせて下さい。(13ページを参照)



- | | |
|-------------------------------------|---------------------|
| A) ピンモード使用表示 | E) ターゲット照準線 |
| B) 直線距離
(M=メートル / Yd=ヤード) | F) 上り/下り傾斜表示 |
| C) モード表示(M1/M2/M3) | G) BとHの差(±) |
| D) バッテリー残量 | H) 実際に必要な距離 |
| | I) M1モードで表示 |

ノーマルモード(M1)

"ノーマルモード"は

「木やピン以外」の「バンカーやグリーンエッジ」などの250ヤード以内の測定に適しています。

それ以上、又は「ピンや木」などの測定には「M2」「M3」モードをご使用下さい。
なお、このモードでは振動はしません

- 1 測定したい目標に照準を定めます
※右項では「バンカーまでの距離を測定」

- 2 右項の様にバンカーに照準を合わせて、電源ボタン(⏻)を「軽く押して」下さい。
計測が終わると液晶画面の中央上に距離(直線距離のみ)が瞬時に表示されます。
他の目標への計測をしたい場合は同様に電源ボタン(⏻)を「軽く押して」下さい。

**1****2**

★ ノーマルモードとスキャンモードはディスプレイに「ピンフラッグ」は表示されません。ピンモードと傾斜(高低差)モード使用時に液晶画面左に表示されます。

スキャンモード(M1で長押し)

スキャンモードは、コース内のバンカー、林、池などの目標や障害物までを連続で測定可能でティーグラウンドからの測定に役立ちます。

「電源ボタン(⏻)を最長8秒間長押ししたまま」で連続測定ができます。

スキャンモード使用中は液晶画面中央右に「SCAN」が表示されます。

M1はグリーンのピン(旗)を狙うのは不向きです。

1 スキャンモードは電源ボタン(⏻)を使用することで、最長8秒間は連続計測が可能です。

2 液晶画面中央上に直線距離を表示します。そのまま電源ボタン(⏻)を押したまま、照準を別の目標に向ければ距離表示が自動で変更されて表示します。



1 バンカーまで
179ヤード

2 ピンまで
65 ヤード




ノーマルモードと
スキャンモードは
液晶画面に
「ピンフラッグ」
は表示されません


ピンモード(M2)
と
傾斜モード(M3)
の
使用中は
「画面左中央」に
表示されます。

ピンモード(M2)

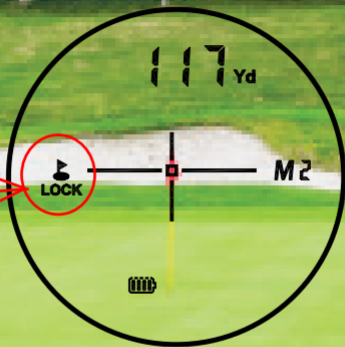
ピンモードはグリーン上のピンフラッグの背景に木々や雲などが重なりピンの計測が難しい場合に使用します。

このモードは風の強い日にもお勧めです。

- 1 右項の写真のようにピンに照準を合わせた状態で電源ボタン  を長押しすると、画面中央左にピンフラッグの絵が表示されて距離が確定し英語で「LOCK」と表示されます。

- 2 ピンの背景に他の物(木々、バンカー、空)がある場合、「旗(ピンフラッグ)」を狙って電源ボタン  を押したまま「振動」するまでお待ち下さい。(2つの距離計測から手前＝旗までの距離を自動的に修正表示します。)★★

★★目標に重なる対象がある場合「長押し」で「目標とその後ろの障害物の2つの距離」を同時に測定し「近い方の距離＝計測したい距離」と認識して近い方に修正し「振動」で案内します。



= それでも難しい場合 =

① 電源ボタンを押したまま「旗(ピンフラッグ)の左右に照準を2、3度振ってから電源ボタンを離す方法」でも測定できます。

傾斜(高低差)モード (M3)

傾斜(高低差)モードは、目標迄の高低差を加味した、実際のショットに必要な距離を計測できるモードで「公式競技以外では推奨」しています。

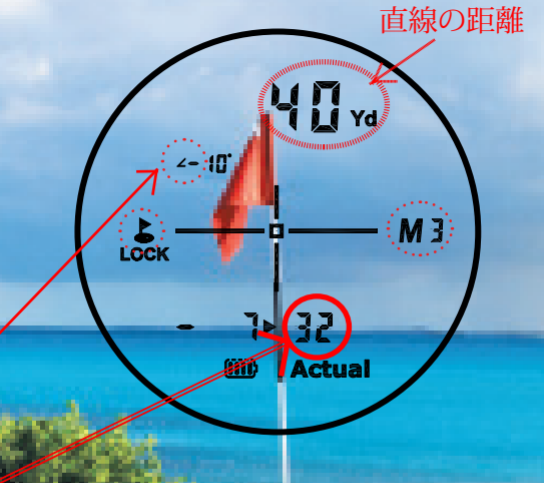
1 本体側面の「傾斜(高低差)切替スイッチ」をONにします(工場出荷時にはスイッチはONになっています、外観は6ページの図を参照)ONになると液晶画面に「M3」と「 \angle 」「 \updownarrow 」が表示されます。(右項の赤丸部分) ※表示が異なる場合はモードボタンで変更します。

2 照準を目標に合わせて、電源ボタン(🔌)を振動するまで「長押しして測定」します。

3 測定した傾斜角度は「 \angle 」の右横に表示されます。直線距離は中央上に数字で表示され、中央右下の「Actual」の上に傾斜を考慮した「実際に必要な距離」を表示しています。

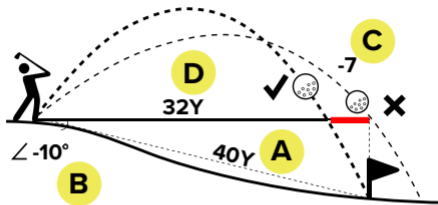
※例:右項図の場合

40ヤード(直線) - 7ヤード(下り) = 32ヤード(必要距離)



★★★ 傾斜切替スイッチをスライドすると液晶画面に「M3」が表示されます。「M3」表示を確認後、目標(ピン)までの間に障害物がない状態で計測をして下さい。 ※モード表示が「M1」「M2」の場合はモードボタンを押して変更して下さい。

M3:傾斜(高低差)モードの画面表示



※右項と合わせてご覧ください。

A 液晶画面の「中央上」に現在位置から目的地(照準)までの直線距離を表示

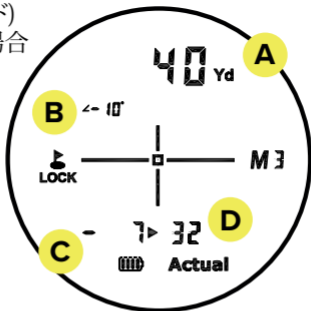
傾斜を考慮して加減する距離を表示

B 本例では下り傾斜 -10° で -7 ヤードを直線距離からマイナスする意味

D 上記の「A」から傾斜距離「C」を(±)した実際に必要な距離を表示

【直線40ヤード -7 ヤード $=32$ ヤード】

Yd(ヤード)
表示の場合



- A 目標までの直線距離
- B 測定位置からの上り・下り傾斜角度
- C 傾斜を考慮した加減距離 (+ / -)
- D 実際に必要な距離



「乗用カートの風除け」や
「ガラス」等のレーザーを遮る物体が
あると正しく計測できません。

製品のお手入れ

1 ご使用後は専用ポーチなどに収納する前に各レンズ表面に付着している埃やゴミをブラシなどで取り除いて下さい。

2 柔らかい布や高品質ティッシュなどで「指紋・汚れ」を取り除いて下さい。

3 温度差による結露や、雨天・霧・草露が製品内部に入ってしまった場合は「絶対に電源を入れずに電池を抜き」直射日光に6時間以上程度当てて内部を乾燥させて下さい。

4

液体クリーナーでレンズを拭く場合は、カメラのレンズクリーナーなどに使用されているイソプロピルアルコール製などを「必ずクロスに染み込ませて」からレンズを優しく拭いてください。
絶対にいかなる液体も直接レンズに落とさないで下さい。

5

1ヶ月以上使用する予定がない場合は内蔵したCR2電池を取り外しておいて下さい。 ※電池の液漏れ防止の為

6

本機は精密機械です。未使用時は家の中など常温で乾燥した場所での保管をお願いします。
氷点下や高温多湿になりやすい場所(例:車中)などは不具合・故障の原因となりますので絶対にお止め下さい。

7 本体の磁石部分は600℃以上の高温にさらされると、磁石の接着力の一部が永久に失われる可能性があります。

8 本体内蔵の磁石は遠距離の強い磁場を生成します。それらは、テレビやノートパソコン、コンピュータのハードドライブ、クレジットカード、ATMカード、データストレージ、機械式時計、補聴器、スピーカーに損傷を与える可能性がありますので、これらの物に本体を近づけないようにして下さい。

本体の磁力が強力な為、専用クリップや鉄製の物に商品と取り付ける際には「肌や指を挟む」場合がありますのでご注意ください。

安全な使用について

怪我・事故を避ける為に下記を必ず守って下さい。

1. 子供の手の届かない所に保管し高温を避けて下さい。
2. 電源を入れた後、絶対に対物レンズを覗いたり、明るいものを見ないで下さい。
3. 絶対に、本機を人や動物太陽などに向けしないで下さい。
4. 本機のレンズは絶対に手で触らないで下さい。レンズ専用クロスなどで拭いて下さい。
5. 本機を絶対に分解しないで下さい。分解したものは保証期間内でも保証対象外とさせていただきます。
6. 本機を絶対に改造したり、水に濡らさないで下さい。本機は防水仕様ではありません。
7. 本機は精密機械です絶対に不安定な場所や滑りやすい場所には置かないで下さい。固い場所への落下は故障の最大要因です。
(保証対象外)

8. 注意:

本体内蔵のネオジム磁石は磁力が強力(300MT=300ガウス)なので、磁力が心臓のペースメーカーや同様の医療機器を誤作動させる可能性があります。

上記に該当する医療機器を使用している方が本品を使用する場合は、適正な距離を保ってご使用ください。

また、同様の医療機器をご使用の方に本体を近づけないようにして下さい。

9. 未使用時の保管

高温による故障防止の為、プレー中の休憩時間や終了後は「直射日光が当たらない10-35℃以内での保管」を推奨します。

おかしいな?と思ったら


電池を入れたが画面が表示されない

1. 電池を取り出して、入れ直して下さい。
2. CR2電池の+/-極を確認して下さい。
3. 電池端子部分に「液漏れ」等の異常が無いか確認して下さい。
4. 本体内部のバネ異常・内部破損が無いかを確認して下さい。
5. ゆっくりと1回電源ボタンを押して下さい。
6. 電池を新しいCR2電池と交換して下さい。

液晶画面表示が消える(中へ漏水)

1. 本体と電池・ケースが水気が無く乾燥した状態かを確認して下さい。
2. 直射日光に最低5-6時間程度当てて内部を十分に乾燥させて下さい。(乾燥機は不可)

距離が測定できない

1. 電源が入っているかを確認して下さい。
2. 本体の各レンズ表面に付着物が無いかを確認して下さい。
3. 本機の最長測定距離の800ヤードを超えていないかを確認して下さい。
4. 目標迄の距離が7ヤード(8m)以上離れているかを確認して下さい。
5. 設定をM1(ノーマルモード)にして電源ボタンを押して計測して下さい。

傾斜(高低差)モード測定が出来ない

1. M3モードにした上で「水平状態」から、「上下いずれか」にある目標に照準を合わせて下さい。
2. 照準は水平状態から本体を上下に傾けて計測すると傾斜モードが正常に機能する場合があります。

良くあるお電話での問い合わせ内容

Q1. 距離が測れない・時々測れない時がある

A1.

パターン①:持った時に指がレーザー射出口に「僅かでもかかる」(12ページ参照)とレーザーが妨害されて距離計測が出来ない。※手の大きい方は特に小指は「立てた」方が良いです。

パターン②:落として壊れた。外装にぶつけた後があり、内部基盤等が破損している(保証外)
※本製品は「精密機械」です大切に。。。

パターン③:内部に水滴が確認され、十分に乾燥させずに電源を入れて漏電し回路がショート(保証外)※内部に水が入ったら直ちに使用を中止して「乾燥」が最優先です。

パターン④:バンカー等に落として砂が内部に混入した場合は保証対象外です。

Q2. 距離が10%程度「短く表示」される

A2. 本体にある「M」と書かれたモード切替ボタンは「3秒以上(気付かずに)押す」と距離表示単位を「Yd(ヤード) ⇄ M(メートル)」に自動で切り替える機能があります。

※使う時に電源を入れてからまずは画面を覗いて「中央右上」の距離単位を確認!

Q3. 電池蓋を落として紛失した

A3. 紛失は有償となります、また一部パーツは販売もおこなっております、まずはカスタマーサポートにメール「support@tectectec.co.jp」でお問い合わせ下さい。

Q4. 傾斜表示がおかしい時がある

A4. 本製品は内部にゴム系素材を使用しており、高温な夏場のトランクなどに保管すると傾斜測定等に異常が出る事があります。

※保管は定温10-35℃を推奨します。

おかしいな?と思った時の「あるあるチェック項目」

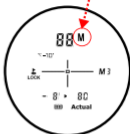
表示距離が10~20ヤード短い

ディスプレイの
Yd(ヤード)表示
になっているかを
確認して下さい。

ヤード表示

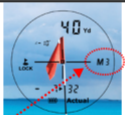


メートル表示



ピンの距離がうまく出ない

ピンの旗を狙って
電源ボタン「長押し」
で「振動」して距離の
補正が出るまで待つ



モードが
M2かM3いずれか
になっているか確認



小指がレーザー
射出部分に出て
妨害している



MODEボタン

電源ボタン



競技モード

TacTacTac

傾斜モード

TacTacTact

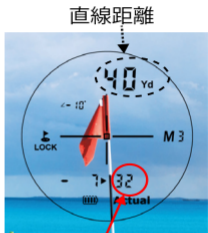


Mini+m 簡単スタートガイド

- ①.ベルト又はスカートに「専用クリップ」を垂直に装着
- ②.目標を狙って「電源ボタンを押し続け」て計測
- ③.本体の磁石部分を専用クリップに直接装着!

モード(切替)
ボタン
&
距離単位切替

電源ボタン
&
測定ボタン



高低差を計算した距離
※M3モードでのみ表示



(落下防止機器を装着)

